

わかりやすい講習会を目指して

愛媛県食肉衛生検査センター

○谷尻大輔、溝田文美、得居格、望月昌三

「HACCPに基づく衛生管理」の制度化に伴い、大規模食鳥処理場においてもさらなる衛生管理の推進が求められている。しかし、当所所管の大規模食鳥処理場においては、外国人従事者が多く、またその国籍も多様化している。そのため言語の違いにより意思が伝わりにくいこと、食品を取り扱ううえでの衛生意識の違いにより、私たちの「あたりまえ」が通用しないこと等の問題点があり、HACCPシステム導入の壁となっている。そこで当所では、衛生意識の向上を図るため、外国人従事者にとって「わかりやすい」講習を目指して衛生講習会を開催したのでその概要を報告する。

講習会は、①HACCPの基礎及び5S活動を解説したDVD鑑賞②食鳥と体、食鳥肉の衛生的な取扱いの指導③手洗いチェッカーを用いた適切な手洗い方法についての内容で行った。食鳥と体、食鳥肉の衛生的な取扱い指導は、半数を占める外国人従事者との言語の違いを考慮し、口頭で説明するよりも内容が伝わりやすいと考え、外国人従事者に認知度の高いアニメのイラストを使用した寸劇で解説することにした。手洗いチェッカーを用いた実習では、アニメの主題歌にのせた解説で手洗いを行ってもらい、きちんと行われていることを手洗いチェッカーを使用して確認した。

講習の内容を分かりやすくしたこともあり、従事者全体が盛り上がり、楽しそうに講習に参加しており、全員が興味を示し、積極的に参加していた。中国人従事者は特に勉強熱心でDVD上映時にメモを手放さなかった。今回の講習会には当該食鳥処理場経営会社総務部長も参加しており、会社全体としてHACCPに取り組む気運の高まりが感じられた。

HACCP導入において、衛生講習会や衛生指導を通じて従事者への衛生教育を適切に行い衛生意識の向上を図ることがHACCPシステムの導入をすすめ、また、その実効性を高めることになる。しかし、外国人従事者数は以前よりも増加しており、国籍も多様化していることから、外国人従事者に対する衛生教育はより一層の工夫が必要である。今回は、外国人従事者に認知度の高いアニメの主題歌や寸劇を利用して日本語が理解できない従事者にも分かりやすく、主体的に参加してもらえることを目的に講習会を行った。講習中の実技指導は噛み砕いた内容が功を奏し、従事者は全員が積極的に参加していた。このように、今後も外国人従事者との言語の違いを考慮して、外国人従事者に対して分かりやすい衛生教育を行い、従事者の衛生意識の向上に努めたい。また、日本人従事者には、外国人従事者の指導的立場を担えるように、外国人従事者への分かりやすい衛生指導ができるよう支援していきたい。